

KOTO オンライン・マガジン ～1人1台端末の活用実践例②～



1人1台端末の配布と学習活動等での活用につきましては、各学校において御協力いただき、ありがとうございます。

今回の「KOTO オンライン・マガジン」では、川南小学校のChromebookを活用した学習活動の実践例について紹介しますので、ぜひ各校の実践に御活用ください。

実践例

発達段階や教科に応じた活用



小学校低学年

1人1台端末の導入時に、身の回りの物をカメラで撮影し、撮影した画像に文字を書き込む。

カメラアプリのみ
で実践可能！



小学校中学年

「国語」では「質問したくなる話題」を考える活動で、オクリンクを活用。タイピング、書き込み等、それぞれの入力方法で、考えをカードに記入。



小学校高学年

陸上競技「走り幅跳び」の活動で、お互いの跳躍の様子をカメラ（動画）で撮影。ペアに撮影してもらった動画を見ながら、お互いにアドバイスをしたり、自分の動きを振り返ったりする。

Point

「校内研修」と「研推だより」で共通理解を図る



「毎日触っていくこと」が1番の近道

川南小学校では、校内の研究推進委員会が中心となって、校内の研究を推進しています。

第1回の研修会では1人の先生が「教師役」となり、「Classroom」を作成して課題の提出や「Google Meet」を試してみたり、グループでの共同編集を試してみたりしました。

研修の内容や計画については「研推だより」で共通理解を図りながら、学校全体で1人1台端末の活用を徐々に進めています。